

2016 岩例会 名寄見晴岩

2016 年 9 月 17-18、名寄見晴岩で岩例会がおこなわれました。冴えないお天気予報だった初日。パラパラと小雨に降られる時間帯もありましたが、ずぶ濡れになるほどではなく、岩場は貸切状態、のびのびと岩を楽しむことができました。

森のカバさん 5.10a でアップをすませ、思い思いのルートを攻略しにかかります（わたしはカバさんで早くも腕がパンパンに…。たくさん練習して早くヘッポコを卒業したいものです）。



写真左：ルートを確認する福家さん千葉さん岳さん



写真右：サンプラー12c を攻める千葉さん。粘り(持続力)はトレーニングの賜物でしょうか。

午後からは栗山さん岡田さんも合流して、岳さんのオンサイト祭りが始まりました。それにしてもこの日の名寄の気温は 12℃ほど。まだ 9 月も中旬だというのに東京の 12 月の気温です。とても寒い…。「北陵クラブに入ったからには温泉など！」と諦め覚悟をしていたつもりだったのですが、千葉さんの「近くに良い温泉があります」の一言の前に、岩スイッチは OFF となり温泉のことしか考えられなくなってしまいました。まだ登り足りないチームと温泉チームとに分かれ、果たして私は五味温泉で 芯から冷え切った身体を温めることができたのでした。山に入っている間はお風呂に入れなくてもへっちゃらですが、とはいえ、やっぱり良いものですよね。温泉！

この日の宿泊先は「キハ 22」でした。電車で泊まれるなんてなかなかできない体験です。鉄道ファンでなくとも楽しい気持ちになってしまうのではと思います（窓や灰皿を見ると昔乗った電車の思い出がよみがえるようでした。管理の方のお話によると 椅子などもすべて保存してあって、元に戻せば今でも走行が可能だそうです）。

夜の宴会では、栗山さんと千葉さんの間で激論が交わされました。議題は、クライミングに必要なのは、技術であるかパワーであるか。とてもアツイ夜でした。



「手を離ささえしなければ落ちない」「悪い場所は、悪いと思うから悪くなるのであって、掴みやすいなあ！という気持ちで挑めばラクラクいける」などの名言がたくさん飛び出すなか、吉成さんも合流。わたしは夜も更けたところでコッソリ抜け出して眠ってしまいました。あの後も熱いトークは続いたのでしょうか。



2 日目はお天気にも恵まれ、昨日とは打って変わって多くのクライマーが押し寄せ、同じ岩場とは思えないような混み具合でした。初心者へっぽこカワハラは、プチトマト 5.10a にロープを張ってもらって練習。ビレーを行う際の立ち位置の重要性なども学びました。

他のメンバーは、グレープフルーツ 5.10d、モグラの穴 5.11a、私が好きだ 5.11a、フェミニスト 5.11a/b、ニューサマーオレンジ 5.12a などなどを登り倒しまくっていました。



頂上からの景色です。「見晴岩」の名に偽りなしの絶景が広がっていました。紅葉の季節にまた来たいなあと思いました。

2 日間みっちり岩を触り、帰る頃には髪を結ぶゴムを扱うのすらツライほど手と腕がパンパン、全身ビッキビキ。でも筋肉痛って「鍛えられている…！」という感じがしてたまらなく良いですよ。

北陵に入って初めて岩を触り、クライミングの楽しさに目覚めてしまったので、たくさん練習をしてもっと上手になりたいです。またみんなで登りに行きましょう。宜しくお願いします。

カワハラ